

## 1-1 本事業の背景と目的

### 1-1-1 背景：地域活性化・地域観光振興に向けた取り組み

糸満市では、自然・歴史・文化の地域資源、クリーンエネルギー利用施設、スポーツ施設の利用の活性化及び観光客の安全性確保などを一体的に進める『糸満市誰もが訪れたいまちづくり事業』を推進しており、市民の生活環境の向上と観光振興事業に取り組んでいる。

#### 糸満市誰もが訪れたいまちづくり事業

糸満市まるごと博物館事業	生活感幸（観光）環境づくり事業 冬場のエコスポーツ拡大事業 <b>新しい公共交通検討事業</b> サンゴ移植造成事業 高嶺間切番所跡公園整備事業 沖縄らしい風景づくり事業 糸満市中央市場整備事業
糸満市まるごとスマート化	省エネ設備化推進事業 燃料ごみ処理モデル事業
観光客が安心して訪れるまち事業	観光地危険生物駆除事業 学校校舎緊急避難施設整備事業
誘客宣伝・受入体制整備事業	糸満イベント推進事業 体験交流促進事業 糸満漁港整備事業 糸満市観光振興基本計画策定事業 糸満市観光農園周遊道路整備事業 文化交流・情報発信拠点施設整備事業
海幸・陸幸振興事業	小規模農家支援事業 島ヤサイ生産拡大及び消費拡大事業 地場産品販路拡大事業 糸満フェア事業 糸満和牛群改良整備事業
平和学習受入体制整備事業	平和学習受入体制整備事業
糸満市人材育成事業	確かな学力を育むサポート事業 英語指導事業 適応指導教室設置事業 障害児学習環境づくり事業 情報教育環境づくり事業 教育環境整備事業
元気のつながるまち事業	子育て応援NPO活動支援事業 障がい者就労支援事業 放課後児童クラブ巡回支援事業 幼稚園児預かり支援事業
アマチュアスポーツのメッカ事業	運動公園・体育施設機能強化事業 パークゴルフ場整備事業 西崎みどりの遊歩道整備事業 西崎運動公園等有効活用整備事業

誰もが訪れやすい移動手段の構築が重要



図 1-1 新しい公共交通による各事業の連携イメージ

## 1-1-2 目的

糸満市と那覇市を結ぶ既存路線バスが市への最短経路となる国道 331 号バイパス（豊見城糸満道路）を経由しておらず、市内に立地する沖縄県を代表する観光資源や大型宿泊施設との結節も弱いなど、公共交通利用を希望する観光客のニーズに対応できていない状況にあった。

そのため、平成 24 年度には新たな公共交通の可能性・方向性を示すとともに、平成 25 年度には先行的に地域の骨格となる公共交通として、那覇空港から大型宿泊施設や観光地を経由するバス路線（以下、「糸満市～那覇空港直行バス路線」という。）の実証実験計画を策定した。

また、平成 26 年度は平成 25 年度に策定した糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験運行計画に基づき、実証実験に向けた準備業務として、観光プログラム企画等、観光ガイドの養成、関連施設との連携、プロモーション活動等を行った。

これらの取り組みを踏まえ、本業務は平成 26 年度に実証実験へ向けて準備した内容を基に糸満市～那覇空港直行バス運行実証実験として、運行管理、観光プログラム企画の実施・管理、プロモーション活動を実施するとともに本格運行に向けた各種調査・検証及び課題等の把握を目的に実施するものである。

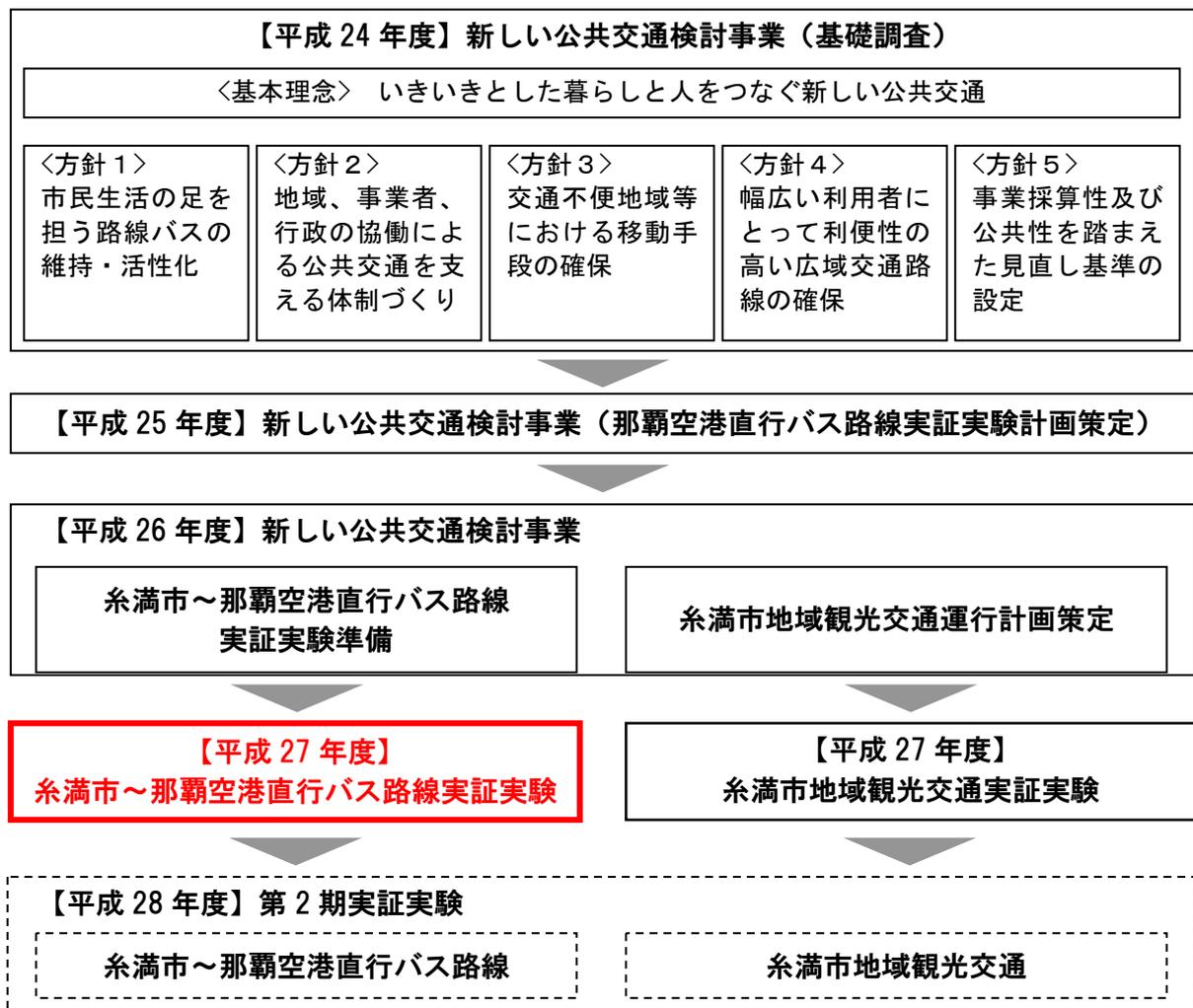


図 1-2 本事業の位置づけ（赤字が本報告書の範囲）

-  糸満市～那覇空港直行バス（串）・・・ 糸満市への行き易さ向上等
-  地域観光交通（回子）・・・ 周辺観光資源の活用・移動手段の確保等

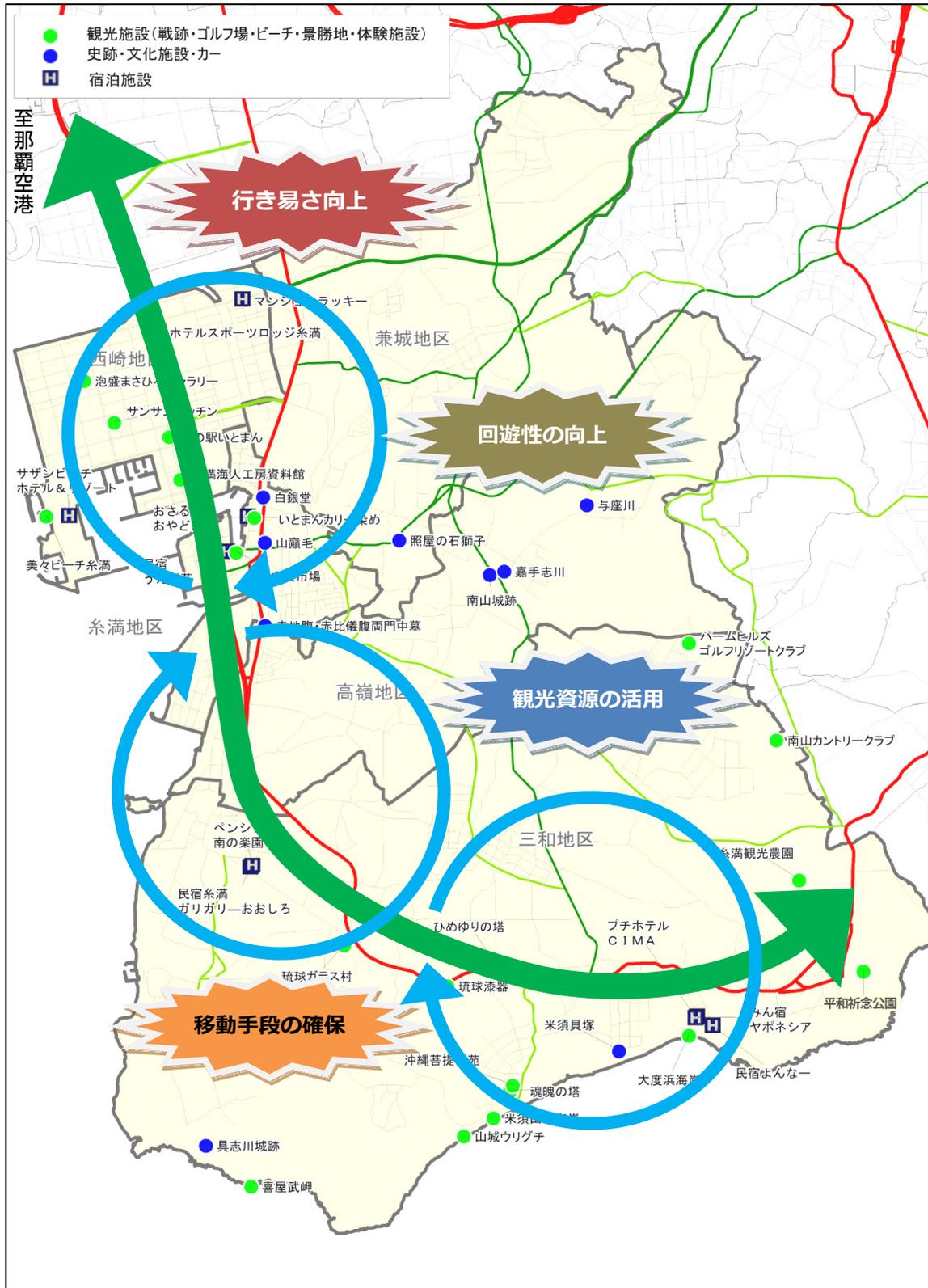


図 1-3 新しい公共交通の全体イメージ

